

石川県白山自然保護センター普及誌

はくさん

特集 白山まるごと体験教室

第30巻 第1号



手取峡谷川下り

鳥越村と吉野谷村の境を流れる手取峡谷は古くから名勝の地で、現在は一部が手取獅子吼県立自然公園に指定されています。鳥越村の手取温泉から三ツ屋野までの約8 km、両岸は高さ20～30mの断崖がそそり立ちます。なかでも落差32mの綿ヶ滝は圧巻です。滝周辺には遊歩道や観瀑台、キャンプ場などが整備されています。昭和60年地元の地区や青年団がこの渓谷でゴムボート下りを企画実施しました。以来、夏のアウトドアスポーツとして定着しました。水しぶきを浴びての川下りは、手取峡谷の普段見られない姿と涼しさ一杯の醍醐味とを味わせてくれます。 写真：鳥越村商工観光課

(野崎 英吉)

白山まるごと体験教室フォトレポート

野上 達也

白山まるごと体験教室 春の山を描こう

平成13年 4月30日(月)
ブナオ山観察舎及びその周辺

ゲストの森秀子さんの指導を受けながら、絵を描き、春の訪れを参加者に感じてもらいました。天候にも恵まれ、気持ちのよい一日を過ごすことができました。描かれた作品は中宮展示館に展示しました。



ツキノワグマ



白山まるごと体験教室 ツキノワグマを探そう

平成13年 5月20日(日)
市ノ瀬ビジターセンター及び周辺(湯の谷林道)

天候にも恵まれ、日なたにじっとしていると暑いくらいでした。ツキノワグマを探す白山釈迦岳山腹のブナは緑を増していましたが、所々に残雪や草地が望めました。クマを見つける際のポイントや望遠鏡の使い方を聞いたのち、観察が始まりました。まもなく、クマを発見。クマまでの距離は約700m。対岸斜面の尾根近く、雪の僅かに残った斜面で草を食べていました。クマは1頭で、かなり大きく、しばらく草地で採食したあと、ゆっくりとした足どりで林の中に入っていきました。わずか7分間の観察でも、初めて見る野生のクマに参加者はとても満足の様子で、「本当に、黒いね」「もっと見たかったと感慨に浸っていました。





白山まるごと体験教室 新緑のブナ原生林
平成13年6月3日(日)
チプリ尾根のブナ林(別山・市ノ瀬道)

エゾハルゼミの音が森中に響き渡り、さわやかな風の吹く中、出発!「どんな自然に出会えるだろう。」ワクワクしながら、ブナ原生林を目指しました。

ゴロンと寝転がったり、気になる花の名前を知ったり、森の中での楽しみ方を体験しながら、ブナやトチノキの大木が連なる道を、ゆっくり歩いて行きました。



白山まるごと体験教室 白山を撮ろう

平成13年7月22日(日)
白山国立公園センター、白峰村風嵐、大杉谷(白峰村)

ゲストにフォトジャーナリストの有田明子さんをお招きして、山に暮らす人々や白山の自然を写真に納め、自然とのつきあい方を探りました。

白山麓では「出作り」と呼ばれる伝統的生活文化がありました。この出作りにスポットをあて、かつての出作り小屋や今も山間奥地で暮らすお宅を訪問して、昔の暮らしを肌で感じてもらい写真に納めました。





白山まるごと体験教室 川虫と川遊び

平成13年8月5日(日)

中宮展示館周辺(蛇谷)

天候にも恵まれ、川遊びに最適の暑い日でした。水温は20℃、水に入っても少し冷たいかなと思うくらい。川はよく澄んでいて川底の石の一つ一つまでくっきりと見えました。よく見ると川底にはカジカガエルのオタマジャクシが、川の流れには体長10cm程度の小さなイワナの稚魚が多数泳いでいます。

水生昆虫を見つける際のポイントや箱メガネの使い方を聞いたのち、観察が始まりました。川底の石の裏にへばりついているカゲロウ、岩の窪みに入り込んで網を張って巣を作るトビケラの幼虫、羽化後のカワゲラの抜け殻などを観察しました。初めて見る川虫の姿に参加者はとても興味深そうでした。



白山まるごと体験教室

秋の音、ネイチャーコンサート

平成13年9月29日(土)

中宮展示館及びその周辺

中宮展示館周辺では、秋になるとコオロギなどの虫達が鳴きはじめます。川の流れる音や風にゆれる木々の音も聞こえてきます。そんな自然の音と楽器演奏やアカペラの合唱を組み合わせ、音を楽しみながら、自然に浸ろうというものです。

当日はサウンドマップというネイチャーゲームを行った後、篠笛や二胡の演奏に耳を傾け、その後、ゲストのコーラスグループ、ザ・ミドル・フォアの皆さんに四季をテーマに童謡を歌っていただきました。ふけゆく秋の夜のひと時に、心地よい時間を過ごすことができました。



白山まるごと体験教室 かんじきハイキング

平成14年2月17日(日)

ブナオ山観察舎周辺

観察舎前で「かんじき」をつけ、ミズナラ林やスギ林を通り抜け、オナメシ谷のブナオ山が正面に見えるところまで歩きながら、厳しい冬の中で生活する動物たちを観察しました。ニホンカモシカが5頭(うち親子1組)が観察できたほか、ノウサギやテン、キツネ、ニホンリスの足跡も観察できました。

昼食をとったあと、午後からは、雪の上でのゲームや大きなビニール袋を使ったソリ滑りを楽しみました。





白山まるごと体験教室 紅葉のブナ原生林

平成13年10月21日(日)

チブリ尾根のブナ林(別山・市ノ瀬道)

チブリ尾根を歩く催しは、白山自然保護センターの行事の中では最も長く約15年行われ続けている催しです。この日は曇り空でしたが、風が無かったせいか、寒さはあまり感じられませんでした。森の中は上を見ても下を見ても、色づいた葉っぱや木の実が、チブリ尾根の秋を演出してくれています。参加者は、落葉した葉の色や森の様子に目を見張り、清らかな沢水に喉を潤したりしながら、森と生き物たちとの関わりに思いを馳せていました。

白山まるごと体験教室 自然素材をアートしよう

平成13年11月18日(日)

白山国立公園センター及びその周辺

ゲストに北村満さん(工房ヒゲキタ)をお招きして、落ち葉や木の枝など自然の中にある素材を使って、額などの作品作りを行いました。

野外での森の宝もという名前のゲームを楽しんだ後、北村さんによる葉っぱを使った虫作り(バッタ)を教わりながら、作品作りに励みました。

皆さん一生懸命に作られ、ユニークな作品がいろいろとできあがりました。



(白山自然保護センター)

白山まるごと体験教室をふりかえる

小川 弘司

昨年度から「いしかわ自然学校」が本格開校され、県内各地で多彩な自然体験プログラムが展開されるようになりました。白山自然保護センターでも、「いしかわ自然学校」の「山のまなび舎」として、白山の豊かな自然に触れる「白山まるごと体験教室」を開催するようになりました。昨年度は9回の体験教室を開催しました。昨年度の教室をふりかえり、その内容や参加者動向、満足度について報告したいと思います。

白山を心と体で体験しよう

この体験教室のねらいは、白山の自然に触れ、親しみ、その体験を通して自然の素晴らしさや大切さをわかってもらうことです。そのために、参加者自らが主体となって体験し感じてもらうように心がけています。キャッチフレーズは「白山を心と体で体験しよう」としました。そして、参加者がこれからの人生の中で、自然保護や環境保全のための主体的・自主的な行動をしてもらえるようになればいいと思っています。

表1 平成13年度白山まるごと体験教室一覧

日 時	テ ー マ	内 容	集合場所	参加者数
4月30日(月) 9:00～15:00	春の山を描こう	白山麓の春の息吹を感じながらキャンパスを通して自然と語ろう	ブナオ山観察舎	14
5月20日(日) 9:00～15:00	ツキノワグマを探す	野生のツキノワグマ探しにチャレンジ	市ノ瀬ビジターセンター	27
6月3日(日) 9:00～15:00	新緑のブナ原生林	樹齢数百年のブナ原生林の新緑を楽しみます	市ノ瀬ビジターセンター	35
7月22日(日) 9:00～15:00	白山を撮ろう	山に暮らす人々や白山の自然を写真に納め、自然とのつきあい方を探ろう	白山国立公園センター	18
8月5日(日) 9:00～15:00	川虫と川遊び	蛇谷の清流に親しみ川遊びを楽しみながら川虫観察をします	中宮展示館	39
9月29日(土) 15:00～18:00	秋の音、 ネイチャーコンサート	虫の音、川の音など自然が奏でる音。自然の中に浸りいろいろな音を楽しみます	中宮展示館	23
10月21日(日) 9:00～15:00	紅葉のブナ原生林	樹齢数百年のブナ原生林の紅葉のすばらしさを満喫しよう	市ノ瀬ビジターセンター	43
11月18日(日) 9:00～15:00	自然素材をアートしよう	草木や石ころなどの自然物を使い、自然をアートしよう	白山国立公園センター	25
2月17日(日) 10:00～15:00	かんじきハイキング	ブナオ山観察舎周辺でかんじきを履いての雪遊びとアニマルトラッキング	ブナオ山観察舎	27

教室は、年9回、各回30名の定員で開催しました（表1）。「白山についてなんでも体験してやろう！」ということで内容は多岐にわたります。春にはツキノワグマを探したり、新緑のブナの森へ出かけたり、真夏には川遊びを楽しみ、また、かんじきをつけて雪を踏みしめ冬山を歩くといった具合です。四季を通して白山の自然に触れられる内容のものにしました。白山の豊かな自然の素材そのものを活かし、ほかでは味わえない内容のものを目指しました。また参加者自らが主体的に体験してもらうために、芸術的な手法を取り入れた内容のものも行いました（表1中の 、 、 、 ）。

それぞれゲストをお呼びし、「春の山を描こう」には画家の森秀子さん、「白山を撮ろう」にはフォトジャーナリストの有田明子さん、「秋の音、ネイチャーコンサート」にはコーラスグループのザ・ミドル・フォアのみなさん、「自然素材をアートしよう」にはクラフト作家の北村満さんに指導や実演をお願いしました。参加者の豊かな感性が感じられる面白い作品に圧倒されたり、ゲストの素晴らしい実演に聞き入ったり、楽しい教室を開催することができました。

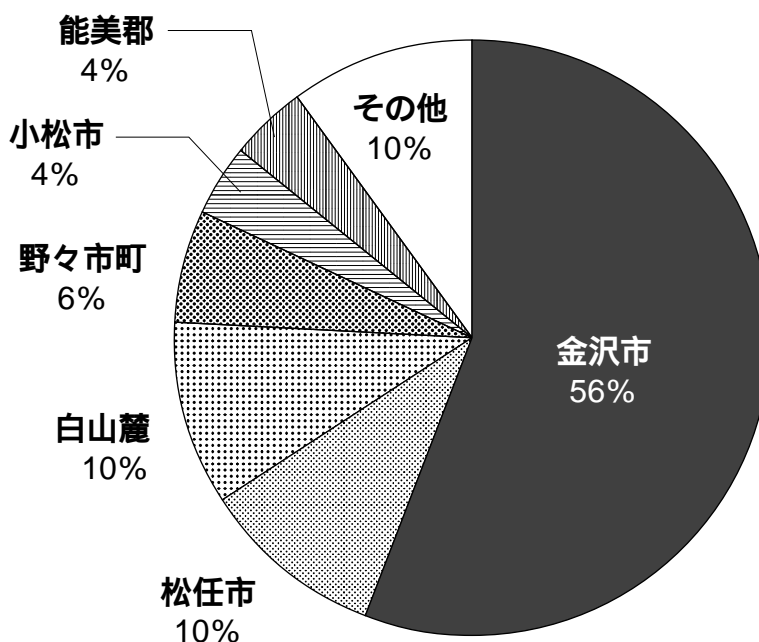
全9回で251名の方に参加いただきました。

参加者

体験教室にはどんな人が参加しているのかを居住地と年齢構成から見てみました。

居住地

参加者は、金沢市の方が56%、ついで松任市と白山麓（除く野々市町）が各10%、野々市町6%、小松市4%、能美郡4%の順でした（図1）。大部分が加賀地区の居住者で、金沢市の方が半数以上を占める結果となりました。そのほか松任市や野々市町の居住者の割合が高く、都市の発達した平野部の人々が白山の自然を求めてやってくるようです。地元とっていい白山麓の参加者もありますが、それほど多くない結果となりました。また、県外の参加者（埼玉県、愛知県）も若干ありました。



白山麓の町村は、鶴来町、河内村、鳥越村、吉野谷村、尾口村、白峰村の1町5村。

図1 平成13年度白山まるごと体験教室参加者居住地

年齢構成

参加者の年齢構成を各回ごとに見てみました（図2）。9回の行事参加者の年齢構成で、一番高い割合を占めたのは、50歳代で、全体の27.4%でした。9回中6回の体験教室で最高の割合を占めていました。次に多かったのは10歳未満の子供たちでした。9回中3回の体験教室で一番高い割合を占めていました。この10歳未満の子供さんが多く参加されるようになったことは意外といえば意外でした。近年の当センターが行ってきた観察会などでは中高年層の割合が高い傾向にあったからです。割合の高かった教室は「春の山を描こう」、「川虫と川遊び」、「自然素材をアートしよう」で子供が参加して楽しめるような内容であったことが大きかったようです。そのため、その親の世代の30代の年齢層の割合も高くなる傾向にありました。参加者の年齢層が偏っているより、より幅広い年齢層の方に参加してもらえた方が良いことに越したことはなく、ちいさな子供たちが親子で参加し、自然を肌で体験してもらえるようになったことはうれしい限りです。

しかし、残念なことに10代後半や20代の参加者はまだまだ少ない傾向にあります。20代の参加者に至ってはわずか5人しかいませんでした。若者にはこのような教室への興味があまり感じられないためであるとは思いますが、自然の大切さを広く伝えていくうえで、若者にも参加できる体験教室を工夫して開催していきたいと思います。

参加者満足度

体験教室に参加しての満足度をアンケートを取って調べてみました（図3）。回答は、10代以上を対象に、無記名方式で、たいへんよかった、よかった、ふつう、あまりよくなかった、よくなかつ

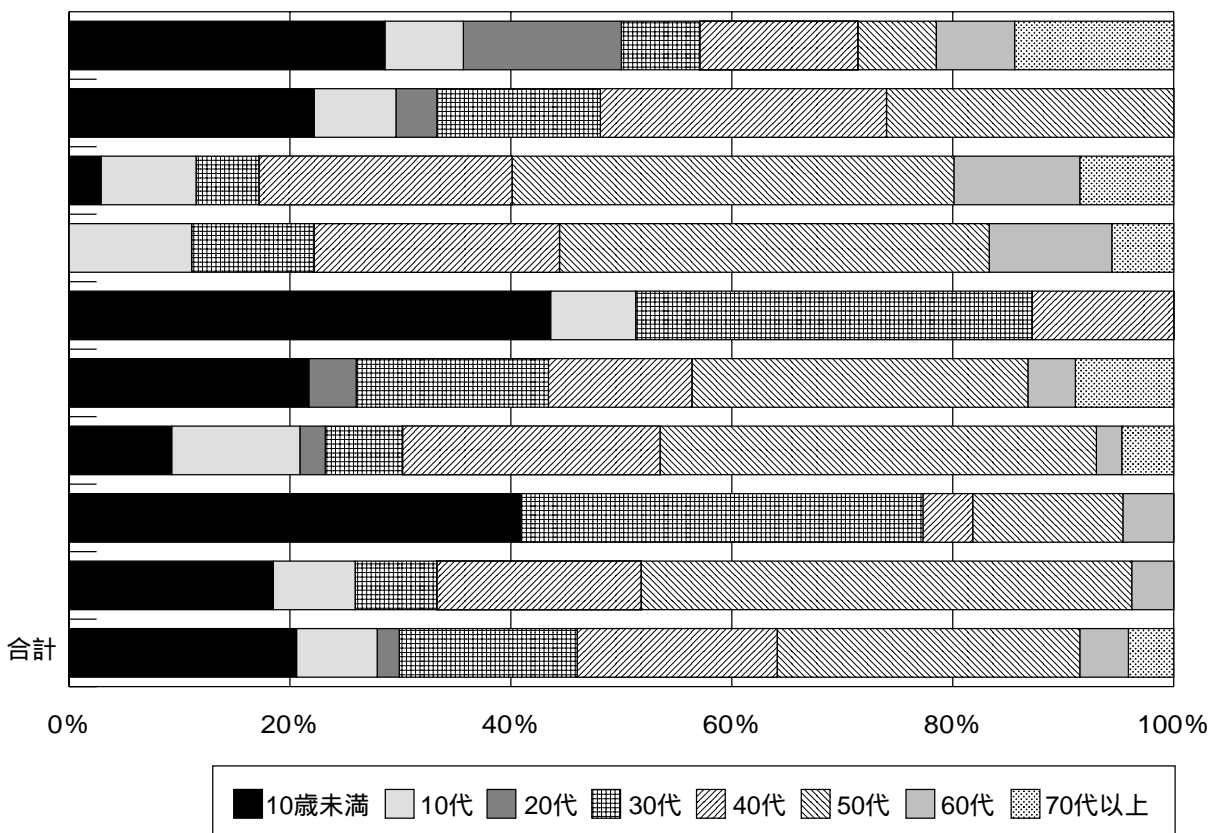


図2 平成13年度白山まるごと体験教室参加者年齢構成（図中の 数字は、表1の 数字と一致）

たの5つの選択肢から をつけて選んでもらったものです。

回答数189件の内訳はたいへんよかったが117件、よかったが67件、ふつうは5件であまりよくなかった、よくなかったがいずれも0件でした。日本人の心理として、よくないと思っていてもそれをそのまま書くことは少ないと思われるので、そのあたりを差し引いて考える必要があると思いますが、参加者からは比較的高い満足を得ているようです。私たちが体験教室をする上で、その喜びを感じるの参加者からの「ありがとうございました」、「楽しかった」、「参加してよかった」などといったお礼の言葉です。参加者に満足してもらえるほどうれしいことはありません。より満足度が高くなるようこれからもがんばっていききたいと思います。また、毎回ごとに担当者が違うので、この結果を励みに、より質の高い教室を行いたいと思います。

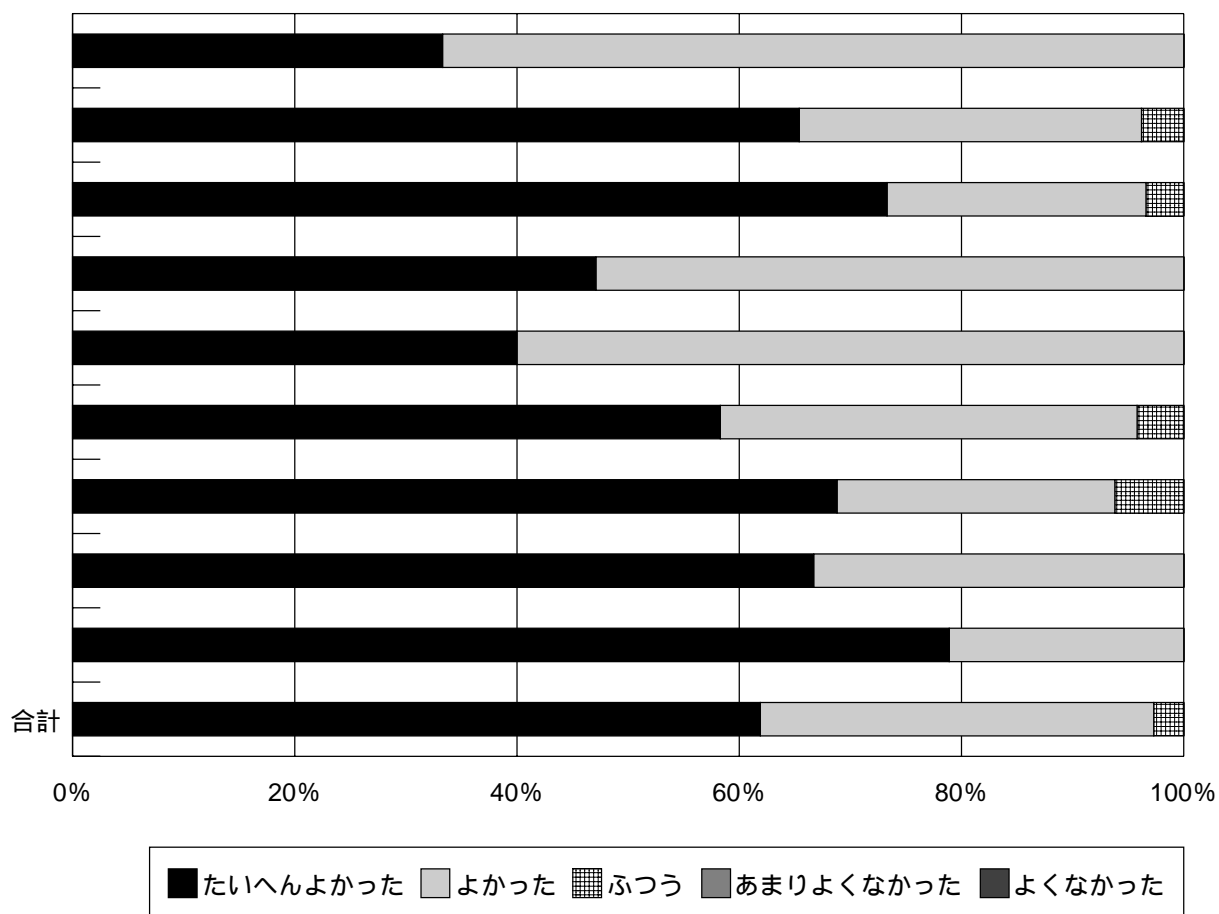


図3 平成13年度白山まるごと体験教室満足度（図中の 数字は、表1の 数字と一致）

白山自然ガイドボランティア活動中

白山自然保護センターでは平成9年度から11年度にかけて、白山地域の自然を案内するボランティアを養成しました。「白山自然ガイドボランティア」と呼び、20代から60代までの男女、約30名の方たちです。平成12年度からこのボランティアの方たちに、当センターの自然体験活動にご協力いただいております。市ノ瀬ビジターセンターでのガイドウォークや白山まるごと体験教室で指導をいただいております。

ボランティアの方たちは、白山や自然に対して熱い思いのある方たちで、「白山のすばらしさを知ってもらいたい」、「自分が体験した感動を人々に伝えたい」といった動機で活動されています。

中には植物に詳しい方や登山経験の豊富な方などもおり、みなさんの特技を生かしたプログラムを実行していただいています。昨年の体験教室の「川虫と川遊び」では、溪流釣りをやっている方に釣りのデモンストレーションをしてもらいました。また、「秋の音、ネイチャーコンサート」では二胡（中国の弦楽器）や篠笛（篠竹製の横笛）といった特別な楽器の演奏をしてもらいました。その他の体験教室でも持ち味をいろいろと発揮してもらっています。

今年からはさらに、中宮展示館での活動もお願いし、活動の幅を広げてもらっています。ここ2、3年で自然体験活動の行事が大幅に増えましたが、ボランティアの方たちの協力なしではなかなか活動ができない面もあり、みなさんには大変感謝しています。これからもボランティアの方たちの協力を得ながら、活発な活動をおこなっていきたいと思います。



いつも明るいボランティアのみなさん（平成14年研修会から）

今年もがんばってやっています

昨年の活動実績を踏まえながら、今年は更に充実した形での体験教室を実施します（表2）。回数は9回から15回に増やしました。特に人気の高い教室は回数を増やしました。また、新たにブナの下草刈りなどを行う体験教室「森人になる日」を加えました。昨年の反省点を踏まえ、場所を変えたり、タイトルを変えた教室もあります。

私たちの活動は、参加者が自然に親しんでもらうための手助けをしているわけであり、主役は参加者であり、自然です。近年、自然破壊や環境問題がクローズアップされる中、その原点として実際に自然に触れ、その素晴らしさを体験することが今の時代こそ必要なことであると思います。この人と自然の橋渡し役としての大きな使命感を持って、地味ながら確実に活動を続けていきたいと思っています。

表2 平成14年度白山まるごと体験教室一覧

	日 時	テ ー マ	内 容	集 合 場 所	定 員
	4月21日(日) 9:00～15:00	白山を描こう	早春の白山の展望を楽しみながら、写生を通して自然と語ります	西山クロスカントリー スキー場かもしか	30
	5月12日(日) 9:00～15:00	ツキノワグマを探そう	野生のツキノワグマ探しにチャレンジ	市ノ瀬ビジターセンター	30
	6月2日(日) 9:00～15:00	新緑のブナ原生林 1	推定樹齢数百年のブナ原生林の新緑を楽しみます	市ノ瀬ビジターセンター	20
	6月8日(土) 9:00～15:00	新緑のブナ原生林 2			20
	6月16日(日) 9:00～15:00	新緑のブナ原生林 3			20
	7月7日(日) 9:00～15:00	森人になる日	ブナ植林地での下草刈り体験と山の暮らし探検	中宮展示館	30
	7月27日(土) 9:00～15:00	川虫と川遊び 1	清流の中で川遊びを楽しみながら川虫観察をします	中宮展示館	30
	7月28日(日) 9:00～15:00	川虫と川遊び 2			30
	8月4日(日) 9:00～15:00	レンズで探る、 白山麓の暮らし	山の暮らしを写真に納め、自然とのつきあい方を探ります	鴫ヶ谷集会所	30
	9月22日(日) 13:00～17:00	秋の音、 ネイチャーコンサート	虫の音、川の音そして野外での演奏。自然の中に浸りいろいろな音を楽しみます	中宮展示館	30
	10月13日(日) 9:00～15:00	紅葉のブナ原生林 1	推定樹齢数百年のブナ原生林の紅葉のすばらしさを満喫します	市ノ瀬ビジターセンター	20
	10月20日(日) 9:00～15:00	紅葉のブナ原生林 2			20
	10月26日(土) 9:00～15:00	紅葉のブナ原生林 3			20
	11月10日(日) 9:00～15:00	自然素材をアートしよう	草木や石ころなどの自然物を使い、自然をアートしよう。	白山国立公園センター	30
	2月16日(日) 10:00～15:00	かんじきハイキング	かんじきを履いて雪の上を歩きながらのアニマルトラッキング	ブナオ山観察舎	30

申込必要（約1か月前から電話のみにて受付開始）。参加費無料。ただし、材料費などの実費が必要な場合があります。雨天決行（内容は変更します）。

（白山自然保護センター）

自然大好き人間が一人でも多くなることが楽しみ

桐山 幸雄

若い頃から登山が好きで、夏休みには必ず北アルプスを中心とした山々へ出かけていました。全国各地への転勤と勤務多忙の関係で、30歳頃からはほとんど山行きができなくなりました。休日には、家族で各地の野山へハイキングに行き、子供とのコミュニケーションをとるとともに自然を満喫し、翌日からのエネルギーとしていたように思います。3年前に会社も定年となったのを機に、いま一度、登山と自然に親しむことを考えていた折、石川県白山自然保護センター主催の「白山自然ガイド養成講座」が開講されました。自然豊かな白山について勉強し、より理解を深めたいとの思いで受講したのが、白山自然ガイドボランティアとして参加する動機となりました。

私たちボランティアは、種々の職業、幅広い年代の男女が参加し、現在30名程が登録されています。市ノ瀬ビジターセンターでは5～10月の毎週土、日、祝日の午前・午後に数コースの自然観察路を中心に、1～2時間程かけて散策するガイドウォークを行って参加者の方々と楽しんでいます。今年からは中宮展示館でも活動することになりました。一般の参加者の皆さんと共に気軽に楽しく自然の素晴らしさ、大切さを野外で実感しています。自然に興味を持ち、自然を遊びたい方々のご希望に添えるよう、楽しい内容のガイドと情報提供が出来るよう心がけ、勉強中です。

また、「白山まるごと体験教室」のお手伝いもしています。今年度は15回、四季折々のテーマにそって、毎回30名程の参加者と石川県白山自然保護センターのスタッフと共に、自然と共に生きる喜びを体感しています。最近の参加者は、お子様連れのご家族も増え、「楽しかった」、「面白かった」、「初めての体験だった」、「思い出になった」、「新しい友達ができた」、「また参加したい」などの好評を頂いており、一段とヤル気を起こしています。

私たちボランティアは、自然に興味を持ち、白山周辺をこよなく愛する熱き思いの仲間たちが集まっています。「自然大好き人間」が一人でも多くなることを楽しみに、これからも元気に活動が続けていきたいと思っております。



やっぱり続けてよかった

大乘 文子

花、木、草、空、雲、太陽、水.....等々。

とにかく自然大好き人間です。春から晩秋まで、雪に埋もれるまで山や林の中をうろつき回ります。自然に関する知識と情報は豊富であることに越したことはない。そして独りよがりではなく、もっと多くの人々とふれあって、様々な知識や情報の交換ができるのではないかと考えボランティア活動に参加しました。しかし研修会などで、多くの仲間たちの意見や活動の様子を聞く機会が重なるにつれ「私はちゃんとしたガイドができるだろうか？」そんな不安な気持ちが次第に強くなりました。環境教育、自然体験、カリキュラム、プログラム、自然解説、参加者の対応、まとめ、ふり返し、反省、こんな文字が頭の中で渦を巻く。「こんな事始めるんやなかった。やめようかなあ」、「でも、もう少しがんばろうかなあ」と二つの思いが行ったり来たり。悩みを引きずったまま2年が過ぎました。

ガイドボランティア登録期間終了、「フーッ」と肩の荷が下りた思いでした。自分自身のふり返しをしました。反省することも多くありました。自然が好きなのはもちろんですが、人間も好きだし...。ガイドウォークや体験教室の参加者と自然の素晴らしさ、大切さを理解しあうとともに、様々な課題に今一度チャレンジし自分なりの努力をしてみよう、そうでなければリーダーや多くの仲間たちに恥ずかしいし申し訳ない、そんな思いにたどり着きました。そして今年再度ボランティア活動に参加しました。気付くのが遅すぎますね。一寸情けないです。

そして平成14年4月21日、白山まるごと体験教室「白山を描こう」、場所は白峰村の西山、講師は画家の森秀子さんです。「よーし、春一番、活動開始！」と気合いを入れ張り切って出かけたのですが、西山はあいにくの雨。まだ残雪も多く肌寒いので屋内で早春の草花を描くことになりました。参加者は幼い子供からかなりの年配者まで幅広く、バランスのいいグループとなりました。皆さんワイワイガヤガヤと楽しそう。でも私は辛い、困った。それは私の一番の苦手は絵を描くことだからです。決心してキャンバスを持ちましたがやっぱりやめました。ごめんなさい。許してください。賑やかで心地よく感じられる一日でした。ありがとう。やっぱり続けて良かったです。季節の移りは早いものですね。

活動仲間の皆さんこれからもどうぞよろしくお願いします。



殊才 実

4月27日に展示館が開館し、新たなスタートをきりました。今年も中宮展示館をよろしくお願ひします。一度、中宮展示館に訪れてみてください。いろいろな楽しみ方ができます。また、今年からは、白山自然ガイドボランティアが8月と10月の週末に常駐して皆さんをご案内します(くわしくは展示館へお問合せください)。

1時間以上時間のある人は蛇谷自然観察園を散策してみましょ

色々な動物、鳥たちとの出会いがあるかもしれません。ニホンザル、ニホンカモシカ、ニホンリス、アカショウビン、オオルリ、上空にはイヌワシが姿を見せるかもしれません。



蛇谷で川遊びをしてみませんか？

イワナ、カジカ(ゴリ)、カジカガエルなどを見ることができます。



館内でゆっくりしてみてください。

白山のすべてがわかるハイビジョンを観てみませんか？



フリースペースでくつろいでみてください。

白山のすべてが分かる冊子が置いてあります。本を読んだり、ぬり絵をしたり、ねころがったりゆっくりしてください。



施設だより 市ノ瀬ビジターセンター

湯原 敦子

夏から秋にかけて、多くの方がビジターセンターを訪れます。館内に入ってくる人の中には、「いつも白峰の集落までは来るけれど、思い切って、初めてここまで来ました。」という方も少なくありません。

いちのせ こんな過ごし方は いかが？

ちょっとだけ（～30分）時間のある人は・・・

- ・白山はどんな山？ ビデオ上映を観てみよう。
- ・市ノ瀬ってどんなところ？
市ノ瀬を物語る神社・石碑を巡ってみよう。
- ・吊り橋を渡ってみよう
さわやかな風！夏はオロロに気をつけてね。

1時間ある人は・・・

- ・「ガイドウォーク」に参加してみよう。
インタープリタ - (自然案内人)と一緒に
自然の不思議にせまろう！
- ・チブリ尾根へ向かう林道を散策。
- ・市ノ瀬園地でのんびり。小川の音を聞きながら。
- ・根倉谷園地でクリの木の森を散策。



お弁当を持って来て
おいしい空気を吸いながら
ポーッと過ごしてみる。

2～3時間のある人は・・・。岩屋俣園地を散策！

半日以上ある人は・・・

- ・ハイキング
六万山へ
チブリ尾根の水場まで
釈迦新道、最初の水場まで



*詳しくはビジターセンターまで、お問合せください。

模様替え実施中！



白山自然ガイド
ボランティアの方の
アイデアで・・・



「柔らかい雰囲気がいい。」「展示物を多くしてほしい。」という、来訪者からの声を生かしながら、利用しやすく楽しいっぱいの館内にしていきたいですね。

センターの動き（3月30日～7月31日）

- | | |
|--|---------------------------------------|
| 4.13 白山自然ガイドボランティア研修会（本庁舎） | 6.16 白山まるごと体験教室「新緑のブナ原生林3」
（市ノ瀬） |
| 4.21 白山まるごと体験教室「白山を描こう」
（白峰村西山） | 6.26 白山自然保護調査研究会幹事会（金沢） |
| 4.27 中宮展示館・市ノ瀬ビジターセンター開館 | 7. 1 白山夏山開き |
| 5. 5 プナオ山観覧舎閉館 | 7. 4 白山国立公園指導員会議（本庁舎） |
| 5.12 白山まるごと体験教室「ツキノワグマを探そう」
（市ノ瀬） | 7. 7 白山まるごと体験教室「森人になる日」
（中宮展示館） |
| 5.20 白山自動車利用適正化連絡協議会総会（本庁舎） | 7.20 白山自然ガイドボランティア中宮展示館研修会
（中宮展示館） |
| 5.27 吉野谷村グリーンデー（中宮展示館） | 7.27 白山まるごと体験教室「川虫と川遊び1」
（中宮展示館） |
| 6. 2 白山まるごと体験教室「新緑のブナ原生林1」
（市ノ瀬） | 7.28 白山まるごと体験教室「川虫と川遊び2」
（中宮展示館） |
| 6. 8 白山まるごと体験教室「新緑のブナ原生林2」
（市ノ瀬） | |
| 6.15 県民白山講座「白山登山と高山植物の集い」
（鶴来町クレイン） | |

編集後記

昨年の8月に研修の機会を得て、アメリカ合衆国のヨセミテ国立公園で本場の自然体験活動を体験してきました。滞在中、印象に残っていることのひとつに、ある若い女性のインタープリター（自然案内人）が発した言葉があります。それは「私は今、夢を生きている」と言ったことです。高校生の頃、ヨセミテに訪れそこで働くインタープリターの姿に感動を覚え、将来、この仕事に就くことを彼女は、夢見ていたのです。そして今、彼女はその仕事をしている。日本人ならば恥ずかしくていえそうも無い言葉を普通に語るその大胆さ（彼女は大胆だと感じてはいないのでしょう）や自信にあふれた姿勢に、恐れ入るとともに、ヨセミテの自然を愛し、自分の仕事に誇りを持っている姿に感心させられました。

本号では、白山まるごと体験教室を特集しましたが、同じ自然体験活動を行うものとして、いろいろ学ぶべきことがありました。（小川）

目次

特集 白山まるごと体験教室

表紙 手取峡谷川下り	野崎 英吉 ... 1
白山まるごと体験教室フォトレポート	野上 達也 ... 2
白山まるごと体験教室をふりかえる	小川 弘司 ... 6
白山自然ガイドボランティア体験記	
自然大好き人間が一人でも多くなることが楽しみ	桐山 幸雄 ...12
やっぱり続けてよかった	大乗 文子 ...13
施設だより（中宮展示館）.....	殊才 実 ...14
（市ノ瀬ビジターセンター）.....	湯原 敦子 ...15

はくさん 第30巻 第1号（通巻123号）

発行日 2002年7月31日（年4回発行）
 編集発行 石川県白山自然保護センター
 920-2326 石川県石川郡吉野谷村木滑又4
 TEL0761-95-5321 FAX0761-95-5323
 URL <http://www.pref.ishikawa.jp/recr/hakusan/haku.html>
 E-mail hakusan@pref.ishikawa.jp
 印刷所 株式会社 橋本確文堂